

## 質問回答

2014年9月12日

エチオピア国チャンピオン商品アプローチ実践支援調査(フェーズ2)

(公示日:2014年9月3日 公示番号:140722)について、業務指示書に関する質問と回答は以下のとおりです。

| 通番号 | 当該頁項目  | 質問  | 回答   |
|-----|--|---|--|
| 1   | 業務指示書 P1-2<br>2. 業務の目的<br>(1)フェーズ 1 調査のレビュー                                      | 目的「(1)フェーズ 1 調査のレビュー」に関連する具体的なアウトプットは何か。「6.業務の内容」の「(1)事前調査及びインセプション・レポートの説明・協議」で作成する説明資料ならびにインセプション・レポート以外に、目的(1)に関連して求められるアウトプットはあるか。                                      | 具体的なアウトプットは「6.業務の内容」の「(1)事前調査及びインセプション・レポートの説明・協議」で作成する説明資料ならびにインセプション・レポートの関連部分となりますが、本調査研究全体を通じ、フェーズ 1 調査のレビュー結果を踏まえて業務を行うことが求められます。                             |
| 2   | 業務指示書 P2<br>5. 実施方針及び留意事項<br>(5)現地リソースの活用  | エチオピア人材を調査研究期間中に渡り雇用し、エチオピアでの調整業務に従事させることを想定しているが、カウンターパート機関に執務スペースを設置することは可能か。また、家具、資機材は見積で計上可能か(執務机、PC、プリンターなど日常業務に必要な機材)。<br>執務スペースが使用できる場合、LANはMOTのものを使用することができるのでしょうか。 | 執務スペースの確保については担保されていません。したがって執務スペースがカウンターパート機関内に確保できない場合も想定した見積もりを検討願います。質問にある家具、資機材については可能な限りリース等を利用し経費節減を図ることが求められますが購入を排除するものではありません。                           |
| 3   | 業務指示書 P 3-4<br>6. 業務の内容<br>(1)事前調査及びインセプション・レポートの説明・協議<br>2)チャンピオン商品アプローチ説明資料の作成 | 説明資料の読者は、エチオピア側カウンターパート(貿易省等)以外に、誰を想定しているか。関連して、説明資料は和文・英文双方の作成が必要か。また、想定している分量はあるか。  | 読者としてはエチオピア側関係省庁(貿易省、工業省、外務省)の他、政府機関(皮革産業開発インスティテュート、繊維産業開発インスティテュート等)、商工会議所、業界団体、商品グループレベルのブランディングに参加する民間企業等を想定しています。説明資料の言語については英語のみ、分量についてはA4紙で2枚~4枚程度を想定しています。 |

以上